

第六十五回帝國議會
衆議院

鐵道敷設法中改正法律案委員會會議錄(速記)第十回

付託議案

鐵道敷設法中改正法律案(政府提出)
地方鐵道法又ハ軌道法ニ依リ交付ス
ル國債證券ニ關スル法律案(政府提出)
秋田鐵道株式會社所屬鐵道外三鐵道
買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案
(政府提出)

會議

昭和九年三月二日(金曜日)午前十時三十八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 原 惣兵衛君

理事中野 寅吉君 理事佐竹直太郎君

理事平野 光雄君

一瀬 一二君 門田 新松君

三井 德實君 仙波 久良君

田村 實君 野田 俊作君

田邊 熊一君 綾部健太郎君

山本 厚三君 清水徳太郎君

中井川 浩君 木檜三四郎君

高橋壽太郎君 野中 徹也君

三月一日地方鐵道法又ハ軌道法ニ依リ交付スル國債證券ニ關スル法律案(政府提出)及秋田鐵道株式會社所屬鐵道外三鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ

出席國務大臣左ノ如シ

鐵道大臣 三土 忠造君

出席政府委員左ノ如シ

鐵道參與官 板谷 順助君

鐵道省監督局長 喜安健次郎君

鐵道省運輸局長 日淺 寛君

鐵道省建設局長 池田 嘉六君

鐵道省工務局長 黒河内四郎君

鐵道省電氣局長男爵 飯田精太郎君

鐵道省經理局長 工藤 義男君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

鐵道敷設法中改正法律案(政府提出)

○原委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、質疑ハ順序ニ依リマシテ綾部君ニ御許シ致シマス、綾部君

○綾部委員 私ハ建設線ニ關聯致シマシテ、同僚各位ガ既ニ質問サレタ省營自動車

ノコトニ付テ、一言ダケ大臣ノ御所見ヲ承テ置キタイト思ヒマス、同僚ガ多數質問サレマシテ、鐵道省ノ方針ノ大體ハ分ッタクアリマス、即チ色々ナ試驗的ノ場合トカ、

民衆ニ非常ナ不便ヲ與ヘルトカ云フ場合ノ外ハ、大體ニ於テ省營「バス」ハヤラナイ、

ヤルニシテモ民衆ヲ壓迫スルガ如キコトハシナイト云フコトヲ、根本ノ御方針ニナサッ

テ居ルト云フコトヲ承ッテ、私ハ洵ニ結構ナコト、拜察致シテ居ルノデアリマス、併シ大臣ノサウ云フ御方針デアルニモ拘ラズ、

吾々ノ方デハ非常ニ民衆ガ壓迫サレテ困ル、斯ウ云フコトヲ頻々トシテ聽クノデアリマス、ソレニ付キマシテハ今後トモ十分

ナル御注意ヲ下サイマシテ、假ニモ民衆壓迫ト云フヤウナコトニナラナイヤウニ、切

ニ希望致ス者デアリマス、一々左様ナル實例ヲ申シマスルナラバ、澤山アリマスガ、

極ク極端ト申シスカ、最モ甚シイト申サレテ居ル一例ハ、長野縣ノ和田峠線ト云フ所

ニ、省營「バス」ヲヤッタノニ對シマシテ、沿道ノ學生割引ガ少クナルトカ、沿道民ガ不

便デアルトカ云フヤウナ陳情ヲ、能ク聽クノデアリマス、私ハ大體鐵道省ノ方針ヲ認

メマスガ改ニ、斯様ナルコトハ申シマセヌガ、今後十分ニ注意サレタイト云フコトガ

一ツデアリマス、ソレカラ若シドウシテモ省營「バス」ヲヤラネバナラスト云ッタ場合

ニハ、之ニ對スル補償ハ自動車交通事業法第三十七條第三項、ソレニ附帶スル勅令ニ

依ッテ定ッテ居リマスガ、是ハ何ト申シマス

カ、餘程民衆ノ事情、民營自動車業者ノ状態ヲ、能ク御考慮下サイマシテ、其損失補償ニ當リマシテハ、最善ヲ盡サレタイト思

フノデアリマス、ト申シマスノハ、鐵道大臣

モ豫算ノ第六分科會、竝ニ本委員會デ度々

同僚カラノ質問ニ對シマシテ、大部分ハ満足シテ居ルガ、或ル一部ノ者ニ對シテハ非

常ニ氣ノ毒ト思ッテ居ル、是ニ付テハ何トカ

今後良イ方法ハナイカト、考ヘテ居ルト云

フ意味ノコトヲ申サレテ居ルノデアリマ

ス、畏多イ話デアリマスガ、明治大帝ノ御

製ニ、斯ウ云フヤウナコトガアッタト承ッテ

居ルノデアリマス、假令一人ノ者ガ志ヲ得

ナイデモ、ソレハ爲政者ノ罪デアルト云フ

ヤウナ意味ノ御製ガアッタト記憶シテ居リ

マス、洵ニ恐懼ニ堪ヘナイ次第デアリマス、

大臣ニ於テ一人デモ其權利ガ侵害セラレ

テ、其補償ガ完全ニサレテ居ラナイト云フ

コトヲ御認メニナルナラバ、此交通事業法

第三十七條第三項ニ依ル場合ノ、補償ノ勅

令ノ規定ヲ御改正ニナル意思ガアリヤ否

ヤ、又今後之ヲ運用ニ當ツテ、如何ナル御所見デアるか否ヤト云フ點ダケヲ、承ッテ置キタイト思フノデアリマス

○三土國務大臣 勅令ヲ變ヘル迄行クカ、或ハ運用ニ依ッテヤルカト云フコトニ付キマシテ、マダハキリ申ス譯ニ行キマセヌガ、御趣旨ノアル所ハ能ク分ッテ居リマスカラ、其積リデ能ク研究シマス

○綾部委員 私ハモウ同僚ガ多數質問シテ、ダブリマスカラ、是デ私ノ質問ハ止メマス

○原委員長 前會ニ引續キマシテ、省營、バスニ關係致シテ居リマスカラ、此際平野君ニ發言ヲ許シマス

○平野委員 遅刻シタ爲ニ綾部君ノ御質問ノ、極ク一部分ダケヲ承ッタノデアリマス、或ハ重複スルノ嫌ガナイトモ限リマセヌガ、其時ハ委員長ヨリ御注意ヲ願ヒマス、前會私ノ質問ニ對シマシテ、鐵道大臣ノ御答辯中、今ノ補償問題デアリマスガ、無理ト思ハレルモノガアル、慘酷ト思フタモノモアル、ガ、併シ不服ヲ言ッテ居ルノハ一二デアッテ、大部分ハ皆満足シテ居ルノダ、斯ウ云フ御答辯デアリマス、不服ヲ言フノハ二三、或ハ一二、後ハ殘ラズ満足シテ居ル、如何ニモ満足シテ居ルノガ多數デアル、其

中ノ極ク一少部分ガ不満ヲ懷イテ居ルト云フヤウニ聞エルノデアリマス、私ガ要求シタ鐵道當局カラノ材料ニ依ッテモ、今迄ノ所謂補償勅令前デアリマスカラ、見舞金トシテ出サレタモノハ四線デアリマス、四線ノ中ニ線ガ不服デアトハ満足ダト云フ、其アトハ二線デアリマス、是ハ大臣ノ御言葉ガ我田引水デ、御自分ノ方ニ有利ノ爲ニ、多少インチキノ御言葉デハナイカト思フ、私ノ承知シテ居ル所ニ依レバ、成程泣寝入ニナッテ居ルノデアリマスガ、是ハ他ニ其經營者ガ、私設鐵道ヲ持ッテ居ルトカ何トカ云フノデ、鐵道ニ關係ガアルノデス、ソレデ文句ヲ言フト外ニ崇ラレルカラ、先ヅ我慢シヨウト云フノデアッテ、内心ニ於テハ非常ナ不満ヲ懷イテ居リマス、大體ガ鐵道當局ガ御自分ノ特權ヲ以テ、民營ノ會社ノ所ヘ割込シデヤレバ、ドウシテモ民營ノ方ガ利益ヲ減殺サレル、ドウシテモ敵ハナイ、車體モドッチカト云ヘバ金ニ任シテ、鐵道デハ非常ナ優良車ヲ使フノデアリマスカラ、地方ノ住民ニハ値下モ響イテ、ツイ其方ノ綺麗ナモノニ惑ハサレル、隨テ自分ノ方デハ引合ハナイカラ、大資本ノ鐵道ト長ク競争シテ居ッタノデハ、引合ハヌカラ仕方ガナイ、宜イ加減ナ所デ廢メヤウ、併シ鐵道ノ

方ハ優良車デ、人員等、相當ノ資本ガ投下サレテアリマスカラ、利益計算ニ於テ私ノ調ベタ所ニ依レバ、今マデ鐵道デ以テ頗ル經濟的ニ施設サレタ所ニ比スレバ、利益ヲ上ゲテ居ナイ、上ッテナイ利益ヲ基礎トシテ一年間ヤラシテ見テ、ソレヲ七倍ニシテヤラレタト云ヘバ、補償其モノハ性質トシテモ無理デハナイカ、鐵道當局ニ伺ヘバ、此勅令ヲ起案スル迄ニハ、非常ナ御苦心ヲナサレタト聽イテ居リマスガ、成程御苦心デアリマセウ、要ハ民營「バス」デハ個人經營、會社組織、法人組織ノ基礎ト云フモノハ、甚ダ不確定ノモノガ多イカラシテ、之ニ普通ノ地方鐵道ノヤウナ、補償乃至賠償ヲスルト云フコトハ、非常ナ弊ヲ醸ス、鐵道ノ財政上ニ及ボスカラト云フヤウナ御懸念、ソレガ爲ニア、云フ苦シイ勅令ヲ出サレテ居ルコト、思ヒマスガ、是ハ御考ニナラナイトイカスト思フ、鐵道大臣此間ノ御説明デハ、今後ハ餘リヤラナイト言ハレル、是ハ全體國有鐵道ノヤウニ「バス」ヲ國有ニセヨト云フナラバ、其補償額ハ相當澤山アル、中ニハ隨分東京、大阪等ノ交通量ノ多イ所デハ、相當大キナ「バス」ノ會社ガアル、何デモ全國五千方ラ御アリニナルト云フガ、其大部分、殆ド八分迄ト云フモノハ小

資本デアアル、十萬圓以下ノモノガ多イト思フ、地方鐵道ノ如ク三百萬圓、五百萬圓ト云フ資本ヲ掛ケテナイ、極ク僅ナ資本デアッテ居ルノデアルカラ、鐵道省ガ一點憐ムト云フ點ガアリ、民營ニ對シテ同情ガアルナラバ、斯ウ云フ場合ハ民營ヲ奪ハナイデ、若シ奪ッタ場合ニハ多少奮發シテ、斯ウ云フモノハ人ノ財產權ニ對シテ一種ノ侵害デアルカラ、多少大マカニ見テヤッテモ宜クハナイカ、是ハ鐵道當局トシテノ御考ガ違フデヤナイカ、ソレガ非常ナ金額ニ上ルノナラバ、或ハ斯ウ云フ賠償方法ニ付テハ、餘程切詰メテ御計畫ノ下ニ爲サラナケレバナラヌケレドモ、サウ澤山ハナイト思フ、而モ資本ハ小サイノデアッテ、賠償額ハ大シタモノデナイ、鐵道ト云フ大資本カラ見レバ、多少ナリ此邊ハ大マカニ見テヤッテモ差支ナイデヤナイカ、只今モ鐵道大臣ハハッキリハ言ハレナイト言ッタガ、意中ニハ御アリニナルコトハ吾々推測ニ難クナイノデアリマス、成程今ノ勅令ノ骨子モ、一案トシテハ結構デゴザイマス、併シ同時ニ此間モ申上ゲタ通り、隨分今ハ路線ト云フモノハ、權利ノ善シ惡シハ別デゴザイマスガ、權利代ト云フモノハ多少認メラレテ、ソレガ通り相場トシテ皆取引サレテ居ルノデアリマスカラ、ソ

レヲ幾分ハ考慮シテ、過去ノ成績ト云フヤ
ウナモノ、投資額ト云フヤウナモノヲ、多
少考慮ニ入レテヤルコトガ宜クハナイカ、
結局サウ云フ意味デ以テ御改正ニナルナラ
バ、今アルヤウナ計算ニ依ッテ、鐵道大臣ガ

其範圍内ニ於テ決定スルト云フコトデナ
ク、玄人ヲ其中ニ入レ、鐵道當局モ入ッテ無
理ノナイト云フ所ノ査定、判定ニ依ッテ御決
定ニナル諮問機關ノヤウナモノヲ御作りニ
ナルノガ相當デハナイカ、既ニ鐵道大臣ニ
於カレテモ早晚改正シナケレバナラヌガ、
之ニ代ルベキ良案ガナイカラト云フ仰セデ
アリマスカラ、私ハ早晚改正サレルモノト
シテノ前提ノ下ニ、鐵道當局トシテハ、斯
ウ云フコトヲ御考慮ニ御入レ下サルベキ筈
デヤナイカト思フ、大臣ノ御所見ヲ伺ヒタ
イト思ヒマス

○三土國務大臣 私ハ今迄ニ大體カラ申シ
マス、苦情ノナイ所ガ多イト申シタノデ
アリマシテ、インチキデモ何デモナイノデ
ス、本當ノ事ヲ申シタノデアリマスガ、是
ハ非常ニ苦心ヲシテ居ル問題デアリマス、
是マデ決メルノニモ苦心ヲシテ、満足シタ
肚決メタノデヤナイノデスガ、併シ國家
ガ賠償トカ、補償トカヲヤリマスニハ、ド
ウシテモ一定ノ基準ガナケレバナラヌ、摺

ミヤリニヤルト云フ譯ニハ行カヌ、ソレデ
苦心シタノデアリマスガ、或ハ委員デモ作
テ、公正ニ考ヘテ貰フト云フヤウナコトモ
必要デアルト思ヒマス

○平野委員 鐵道大臣ノ御親切ナ御答辯
デ、洵ニ私満足デゴザイマス、私ハ質問ヲ
スルノデハナイガ、相當下情ニ通ジテ居ラ
レル三土鐵道大臣デアラレルケレドモ、國
策ノ大局ニ任ゼラレル方デアアルカラ、小サ
イ所ニ御目モ著キマスマイト思ヒマスカ
ラ、參考迄ニ大臣ノ御耳ニ入レテ置キマス
ガ、此間ノ分科會ノ御説明、又當委員會ノ
御説明ノ中ニモ、地方民ガ非常ニ熱望スル、
非常ニ陳情ガアル、ダカラサウ云フ所ハ民
意ニ從ッテ經營シテヤルノダト云フ、地方民
ニセガマレルカラ、ヤルノダト云フヤウナ
御答辯ガアッタノデアリマスガ、是ハ餘程御
考ニナラナケレバナラヌト思フ、吾々ノ聽
ク所ニ依ルト云フト、鐵道デ御使ヒニナル
優良ナ「バス」ハ、地方ノ民營ノ「バス」カラ
見レバ、民營ノ車體カラ見レバ餘程優良ナ
モノデアリマス、吾々ガ此處等デ見ルヤウ
ナ觀光「バス」ノヤウナ車體ノモノヨリ、ヨ
リ以上ノモノヲ御使ヒニナッテ、示威的ニ
「デモンストレーション」的ニ之ヲヤラウト
云フヤウナ傾ガアル、サウシテ地方民ガ之

ヲ見テ、鐵道デヤルノダカラ立派ナモノダ、
ソコヘ持ッテ來テ驛長ナドガ特ニ所管局ニ
對シテ多少忠義振テ、村長ヤラ、町長ヤラ
地方民ノ有力者ヲ煽テ、鐵道デナケレバイ
カヌト云フヤウナコトヲ言フ、ソレガ自然
傳播シテ町會議員ヲ動カシ、村會議員ヲ動
カシ、市長、町長ナドガ多少熱ガ上ッテ來テ
陳情サレル、所ガ今迄ノ例ヲ見ルト、ヤッテ
見タハ宜イガ、初メハ非常ニ惚込シテ陳情
シテ、熱望シテヤッタ、所ガヤッテ見ルト何
ゾ圖ラン今マデハ手ヲ擧ゲサヘスレバ停
タヤツガ、驛ト驛トノ間、停留所ト停留所
ノ間一軒トカ、何軒ノ間ハ停ラナイ、態々
其處マデ裾ヲ摺リ切ラシ、下駄ヲ摺リ減ラ
シテ行カナケレバ乘レナイ、ドウモ斯クナ
デヤナカッタト失望シテ、中ニハヤハリ「憂
シト見シ世ゾ今ハ戀シキ」デ、昔ノ方ガ宜
カッタト云フ聲モアルソウデアリマス、是
ハ蓋シ大臣ナド御知リニナラナイ、又鐵道
現業員ノ其職務ニ熱心ノ餘リ、又上司ニ對
シテノ自分ノ奉公振リヲ見セル爲ニ、オヤ
リニナルコトデアアルカラ、一面ニ於テハ私
ハ洵ニ結構デアルトハ思フケレドモ、アナ
タノ仰シヤル地方民ハ、大衆ノ熱望デア
ルト云フノハ作爲的デアッテ、現業員ノ方ナド
ガ煽動シタ結果、間々此處ヘ來テ居ルト云

フコトヲ御留意ヲ願ヒタイ、尙ホ此省營「バ
ス」ガ何方カト云フト、一昨年來運輸局邊リ
デ御計畫ニナッテ豫期以上ニ——私ハ脱線
ト申シマシタガ、所謂試驗的ノ意味ニ於テ
オヤリニナルト云フ傾ガアッタガ、是ハ歸ス
ル所ハ、當時鐵道ガ財界不振ノ爲ニ赤字ガ
出テ、又「バス」ニ依ッテ非常ニ收益ヲ殺ガ
レテ居ル、斯クナコトカラ運輸局當務者ト
シテハ、自分ノ仕事上ノ關係カラ多少焦リ
氣味デ、此赤字ヲ償フノニ省營「バス」ヲヤ
テハト云フノデ、色々計畫ヲサレテ、之ヲア
ナタニ進言シ、アナタモ之ニ動カサレテオ
ヤリニナッタト云フコトガ、主ナル原因デナ
イカト思フ、幸ニシテ鐵道モ黒字ニ變ッテ來
テ、赤字モ征服サレタノデゴザイマスカラ、
今後ハ餘リ御焦リニナラナイトハ思フケレ
ドモ、願クバ主因ハ其處ニアルノデアアルカ
ラ、アナタハ此間モ民營デ結構ナモノガ相
當ニアル、能クヤッテ居ルモノナラバ決シテ
之ニ取テ代ラナイト云フ、當委員會ニ於ケ
ル御聲明モアッタノデアリマスカラ、願クバ
今ノ地方民ノ熱望ト云フコトハ實ハ鐵道ノ
作爲デアッタ、及ビ今日黒字ガ出タ、斯ク云
フ結構ナ時代ニ於テハ餘リ焦ラナイデ、鐵
道ト云フ大マカナ身代、大分限者トシテハ餘
リ小イ弱イ者ヲ窘メナイ、今迄ノヤリ方ハ

フコトヲ御留意ヲ願ヒタイ、尙ホ此省營「バ
ス」ガ何方カト云フト、一昨年來運輸局邊リ
デ御計畫ニナッテ豫期以上ニ——私ハ脱線
ト申シマシタガ、所謂試驗的ノ意味ニ於テ
オヤリニナルト云フ傾ガアッタガ、是ハ歸ス
ル所ハ、當時鐵道ガ財界不振ノ爲ニ赤字ガ
出テ、又「バス」ニ依ッテ非常ニ收益ヲ殺ガ
レテ居ル、斯クナコトカラ運輸局當務者ト
シテハ、自分ノ仕事上ノ關係カラ多少焦リ
氣味デ、此赤字ヲ償フノニ省營「バス」ヲヤ
テハト云フノデ、色々計畫ヲサレテ、之ヲア
ナタニ進言シ、アナタモ之ニ動カサレテオ
ヤリニナッタト云フコトガ、主ナル原因デナ
イカト思フ、幸ニシテ鐵道モ黒字ニ變ッテ來
テ、赤字モ征服サレタノデゴザイマスカラ、
今後ハ餘リ御焦リニナラナイトハ思フケレ
ドモ、願クバ主因ハ其處ニアルノデアアルカ
ラ、アナタハ此間モ民營デ結構ナモノガ相
當ニアル、能クヤッテ居ルモノナラバ決シテ
之ニ取テ代ラナイト云フ、當委員會ニ於ケ
ル御聲明モアッタノデアリマスカラ、願クバ
今ノ地方民ノ熱望ト云フコトハ實ハ鐵道ノ
作爲デアッタ、及ビ今日黒字ガ出タ、斯ク云
フ結構ナ時代ニ於テハ餘リ焦ラナイデ、鐵
道ト云フ大マカナ身代、大分限者トシテハ餘
リ小イ弱イ者ヲ窘メナイ、今迄ノヤリ方ハ

如何ニモ弱肉強食ダ、自分ノ勝手デ飛ビ込
ンデ行ッテ虎ノ威ヲ假リテヤル、其處ニ居
ル小イ獸ハ、ドウシテモ勝テナイカラ止メ
テシマフ、賠償金ハ涙金ヲヤルト云フノデ
アリマスカラ、私モ別ニ「パス」ニ深い關係
ヲ有ッテ居ル者デモアリマセヌガ、吾
吾ガ聽イテ、公平ナ見地ニ立ッテ者カラ見レ
バ、鐵道當局ノヤリ方ガ少シ御無理デヤナ
イカ、當業者ニモ勿論我儘勝手ガアリマセ
ウ、當業者モ渦中ノ人デアアルカラ捉ハレテ
居リマス、同時ニ鐵道當局モ私ハ捉ハレテ
居ルト思フ、第三者ノ公平ナ地位ニ立ツ吾
吾委員ガ、一番公平ナ判斷ヲシ得ルト思ヒ
マス、私別ニ質問デアリマセヌケレドモ、
參考迄ニ大臣ノ御耳ニ入レテ置キタイト思
ヒマス

○原委員長 之ニ牽聯シマシテ山本君ニ御
發言ヲ御許シマス

○山本委員 私ハ極ク簡單ナ事實ノコトダ
ケヲ御尋スルノデアリマスガ、昭和八年度
ヨリ實施スル自動車ノ豫定線ナルモノヲ、
御發表ニナッテ居リマスルガ、其中何線ダケ
實施ヲ致シテ居リマスルカ、伺ヒタイト思
ヒマス

○日淺政府委員 八年度ニ計畫致シマシタ
モノハ、道路ノ關係等デ色々故障ガアリマ

シテ、マダ全通ニ至ッテ所ハナイノデアリ
マスガ、年度内ニ約八線バカリノ開業ヲ見
ル豫定ニナッテ居リマス

○山本委員 勿論三月マデ年度ガアルノデ
アリマスルガ、色々ナコトガ新聞ニ出テ居
テ、真相ガ分ラナイノデアリマスルガ、現
在ノ所デ凡ソ何時頃、ドノ線ヲ實行スルト
云フヤウナコトガ、御分リニナッテ居ルナラ
バ、伺ッテ置キタイト思ヒマス

○日淺政府委員 此八年度ノ計畫路線ノ
中、苗穂手宮ハ雪解ト同時ニ、大體道路ガ
完成ヲスル豫定ニナッテ居リマスノデ、是ハ
來年度ニ入ル豫定デアリマスガ、五月頃ニ
ハ運轉出來ル豫定デゴザイマス、ソレカラ
御前山常陸天子ノ間、是モ一部分ハ道路ガ
出來マセヌ爲ニ來年度ニ入りマスガ、其大
部分ハ三月中ニ開業スルコトニナッテ居リ
マス、ソレカラ上諏訪鹽尻間モ、全部デハ
アリマセヌガ、是モ三月中ニ開業スルコト
ニナッテ居リマス、ソレカラ園部篠山、是モ
三月中ニ一部ノ開業ヲスルコトニナッテ居
リマス、ソレカラ出雲今市六日市、是モヤ
ハリ道路ノ關係デ全線ト云フ譯ニハ參リマ
セヌガ、一部ノ開業ヲ三月中ニヤルコトニ
ナッテ居リマス、ソレカラ川之江阿波池田、
是ハ八年度内ニ全線開業ノ豫定デゴザイマ

ス、ソレカラ松山落出デアリマスガ、是モ
道路ノ關係上全通ト云フ譯ニハ參リマセヌ
デゴザイマスガ、三月中ニ其一部ノ開業ヲ
見ルコトニナッテ居リマス、ソレカラ廣島
濱田モ同様デゴザイマス、ソレカラ麻里布
日原間モヤハリ一部ガ三月中ニ開業スルコ
トニナッテ居リマス、ソレカラ宇土佐俣、是
ハ大體全部出來ルドラウト思ッテ居ルノデ
アリマスガ、縣ノ方ト相當工事ノ點ニ付テ
協議ヲシテ、促進ヲシテ居リマスルカラ、
多分三月中ニ全線ノ開業ガ出來ルモノト見
テ居リマス

○山本委員 大體八年度中ニ一部ナリトモ
開業ガ出來ルヤウデ、洵ニ結構デアリマス
ガ、其中ノ苗穂手宮ト云フノハ全部デアリ
マスルカ、一部デアリマスカ

○日淺政府委員 是ハ道路ノ關係ニ懸ッテ
居ルノデアリマシテ、若シ道路ノ小樽寄り
ノ方ガ出來ナケレバ、輕川邊リマデ一部ノ
開業ヲシタイト思ッテ居リマス、道路サへ出
來レバ全線ノ開業ヲスル積リデアリマス

○山本委員 此線ハ此ノ間モ一寸大臣ノ御
答ノ中ニモアリマシタガ、道路ノ一部ガマ
ダ未定デアルト云フコトハ、恐ラク小樽ニ
寄ッテ方ノ隧道ノ所ノ道路ダラウト思ヒマ
スガ、アレハ鐵道省ノ方デ隧道ノ關係モア

リ、又道廳トノ國道ノ關係ダラウト思ヒマ
スガ、是ハ出來ナクテモ、既ニ國道ガアルノ
デアリマスカラ——餘程ノ金ヲ使ッテ、斷崖
ヲ崩シテ相當立派ナ道路ガ出來テ居ルノデ
アリマスカラ、隧道ハ出來ナクテモ國道ガ
出來マシテ、既ニ一月中ニ落成式ヲヤルノ
ヲ、雪ノ關係デ三月三十日ニ官民合同デ非
常ニ大キナ落成式ヲヤルノデアリマスカ
ラ、一部未定デアルト云フコトハ、今ノ地點
デアルトスレバ、完成シタト同ジデアリマ
スカラ、是ハ是非全部御開業ヲ願ヒタイト
思ヒマス、輕川ト札幌ノ間デハ非常ニ效果
ガ少ナイノデアリマスカラ、其點ハ御承知
デアリマセウガ、念ノ爲ニ申上ゲテ置キタ
イト思ヒマス、ソレハドウ云フ御考デアリ
マセウカ

○日淺政府委員 是ハ私ノ方デハ雪ガ解ケ
レバ、一日モ早クヤリタイト思ッテ居ルノデ
アリマスカラ、道路ノ關係デ運轉ニ支障ガ
ナイト云フコトデアレバ、外ニ何等支障ハ
ナイノデゴザイマスカラ、出來ルダケ全線
ノ開業ヲ一日モ早クヤリタイト云フコトニ
考ヘテ居リマスカラ、今ノ御趣意ニ副フヤ
ウニ、努力スル積リデアリマス

○山本委員 自動車ノコトハ大體諸君カラ
御尋ガアリマシタカラ、ソレダケニ致シマ

シテ、他ノ事デ極ク簡單ニ、一二御伺ヒ致シタイト思ヒマスガ、宜シイデスカ

○原委員長 特ニ御許シ致シマス

○山本委員 北海道ト青森トノ間ノ、青函連絡ニ付テハ、年々議會ノ問題トナッテ居リマシテ、其都度當局ノ御意見ハ、極メテ明瞭ニナッテ居リマスルガ、今以テ非常ナ熱烈

ナ陳情ガアリマシテ、即チ是非彼處ヲ通算シテ貫ヒタイト云フ意見ナシデアリマシテ、之ニ付テハ當局ノ御都合モアリ、又地方デモ意見ガ二ツニ分レテ居ルヤウナ状態デアリマスルガ、目下頻ニ建議案、若クハ陳情書ヲ出シテ居リマス、此青函間ノ運賃ヲ通算スルト云フ問題ニ付テハ、現在當局ハドウ云フ風ナ御方針ニナッテ居ラッシャイマスカ、伺ヒタイト思ヒマス

○日淺政府委員 此青函間ノ航路運賃デゴザイマシテ、大體通算シテ欲シイト云フ意思ガアルノデゴザイマシケレドモ、通算ト云フコトハ、是ハ營業料ノ設定ニ依リマシテ、運賃方同額デアッテモ、通算ト云フ方法モ執レルノデアリマス、併シ要スルニ通算ニシテ欲シイト云フ趣旨ハ、アノ實料ヲ以テ鐵道運賃ト同ジニ通算ラシテ呉レト云フコトデ、要スルニ運賃ヲ非常ニ引下ゲテ欲シイト、斯ウ云フ事ガ眞意デナイカト、吾

吾ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、此通算ト云フコトニ付キマシテハ、私共ノ方トシテ色々ノ事情デ、是ハ單ニ減收トカ、何トカ云フコトダケデナクテモ、航路ヲ陸上ト同ジヤウニ通算スルト云フコトハ、今ノ所

何等考ヘテ居リマセヌ、唯通算ニシナイデ、然ラバ航路運賃ヲ引下ゲルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、色々研究モシテ居リマスシ、又先頃運賃審議會カラモ、航路運賃ニ付テ考慮ノ必要ガアルノデハナイカト云フヤウナ、御答申モアッタヤウナ次第デアリマシテ、此青函間ノミト言ハズ、全體ノ航路運賃ニ付テ、今或ハ引下ノ餘地ガアルノデハナイカ、出來ルナラバ幾分ノ引下ヲ

調査ヲ進メテ居リマス、唯一方ニ御承知ノ通り海運業ニ關係シテ居ル方面カラハ、此運賃ヲ引下ゲラレト云フコトハ、船ニ影響スルカラ困ルト云フコトデ、反對ニ引下反對ノ非常ニ熱心ナ御要望モアルヤウデアリマスカラ、是等ノ點モ無論考慮ニ入レテ居リマスガ、引下ゲルト致シマシテモ、船ニ影響スル程引下ゲルト云フコトハ、船ノ影響ヲ別ニシマシテ、鐵道自體トシテモ、ソレ程大キク引下ゲルト云フコトハ、恐ラク出來ナイト思ッテ居リマス、唯要ハ、船ニ

影響ヲ與ヘナイ、又幾分此航路運賃ト云フモノニ付テ、引下ガ出來ルカドウカト云フコトニ付テハ、出來レバシタイト、斯ウ云フ氣持デ今專ラ調査ヲ進メテ居ルノデアリマス

○山本委員

當局ノ御意嚮ハ能ク分リマシタガ、只今ノ問題ハ相當重大ナ問題ナノデアリマスカラ、十分御研究ノ上デ、適當ニ各方面ノ希望ニ適合スルヤウニ、取計ハレシコトヲ希望致シマス、尙ホ他ノ點デ極ク簡單ニ伺ッテ置キタイ事ハ、近來鐵道省デ國有鐵道ノ組織ヲ、非常ナ根本的ノ改廢ラシテ、簡單ニ申セバ局ヲ増設スルト云フコトハ、時々新聞デ發表サレルノデアリマスガ、新聞ノ記事ハ時々鐵道省ノ事ニ關シテハ、間違ッテ居ルヤウデアリマスガ(笑聲)例ヘ

バ其最モ大キナモノハ、敷設法ノ全廢ト云フコトモ、度々極メテ具體的ニ、大臣トノ問答ナドトシテ出テ居ルノガ、全部間違ダト云フコトモアリマスシ、又地方カラ其局ヲ取ラウトシテ、運動ノ爲ニ有力者ガ澤山東京ナドシテ來テ居ルヤウナ有様デアリマスカラ、大體ニ國有鐵道ノ組織ヲ改正スルト云フヤウナ御計畫ト、御意思ガアルノデアリマスカ、之ヲ伺ッテ置キタイ

○三土國務大臣

鐵道省ノ局以下ノ組織ニ付キマシテハ、今日始ッタ問題デナクシテ、餘程前カラ問題ガアルノデアリマス、即チ今日デハ御承知ノ通り、本省ノ局ノ下ニ地方ノ鐵道局ガアル、ソレカラ保線事務所、運輸事務所、驛ガアッテ、四重ニナッテ居ルノデアリマスガ、四重デハ不便ダト云フ意見ガアリ、寧ロ一ツ減ラシテ三重ニシタラドウカ、即チ局ト驛トノ間ノ保線事務所、運輸事務所ト云フヤウナ機關ヲ廢メテ、其代リ局ヲモット増シタラドウカ、斯ウ云フ意見ガ餘程前カラアルノデアリマス、ソレニ付テ利害得失ヲ研究シテ居ルノデアリマス、同時ニ今ノ組織ノ儘トシテ、地方ニ鐵道局ヲ増シテ貫ヒタイト云フコトガ、鐵道省内デ希望ガアルノデアリマス、即チ現在ノ局ヲ置イタ當時カラ考ヘテ見ルト、今日ハ非常ニ營業哩數モ殖エタシ、ソレカラ民間ノ鐵道、電車等モ殖エタシ、監督行政ノ見地カラ申シマシテモ仕事ガ捌キ切レヌ、モット今ノ組織ノ儘デモ局ヲ殖ヤシテ貫ヒタイト云フコトガ、省内デノ各方面カラ希望ガアルノデアリマス、サウ云フ事ガ今新聞ニ出テ居ル譯デアリマス、是ハ新聞ハ嘘デハナイノデアリマス(笑聲)併シ決メタト云ヘバ嘘ナンデス、ドウトモマダ決メテ居ナイノデス、今ノ組織ノ儘デ局ヲ増スト云フコト

モ考ヘラレルノデアリマスガ、ソレヲ早耳
デ聞イテ運動ニ來ルノデアリマス、私ハ運
動ニ來ル人ニ申スノデアリマスガ、是ハ地
方デ騒グト困ル、ドウシテモ來年カラヤラ
ナケレバナラヌト云フ問題デナイノダカ
ラ、是マデ我慢シタノダカラ、我慢スレバ
一年ヤ、二年ハ我慢ガ出來ル、運動ナドス
レバ、直グ廢メテシマハウト思ッテ居リマ
ス

○山本委員 此問題ダケハ新聞ノ記事ガ本
當ノヤウデアリマスガ、善イ惡イハ別ト致
シマシテ、私御伺シタイノハ、大體斯ウ云
フ事ハ調ベルト申シタ所デ、調ベルコトモ
ナイノデアリマスガ、明年度内ニ御ヤリニ
ナルヤウナ考ヲ、御有チデアリマスガ、ド
ウデアルカト云フコトヲ伺ヒタイ

○三土國務大臣 ソレハマダ言ヘナイノデ
アリマス

○原委員長 一寸御尋ネ致シマスガ、木檜
サンハ「バス」問題デ御ヤリニナリマスガ

○木檜委員 私一寸五分バカリ質問致シタ
イ

○原委員長 此際一寸御諮リ致シマスガ、
實ハ建設ノ事ニ付テハ打切ッタノデアリマ
スガ、佐竹、一瀬兩君カラ建設ニ付テ簡單
ナ質問、ソレカラ運輸ニ關シテ仙波、野中、

中野ノ三君カラ質問ノ申出ガアリマス、都
合五人程質問者ガアリマスガ、今日ハドウ
シテモ正午マデニ打切りタイト思ヒマスガ
ラ、皆サン其積リデ、簡單ニ十分以内位
御ヤリニナレバ、全部済ムト存ジマス、豫
メ左様御承知ヲ願ヒマス

○木檜委員 先程大臣カラ「バス」ノ事ニ付
テ御答ガアリ、尙ホ質問モアリマシタガ、
殊ニ綾部委員ノ御述ベニナッタコトハ、至極
同感ダト思ヒマスガ、同委員ノ前段ニ述ベ
ラレタ事ニ付テハ、政府當局カラ其通りデ
アルト云フ、確答ヲ戴イテ居ラヌノヲ、私
ハ遺憾ニ思ヒマス、就テハ綾部君ガ前段ニ
述ベラレタ事ハ、大臣ハ御同意デアルカド
ウカト云フコトヲ一ツ伺ヒタイ

○原委員長 先刻述ベラレタ前段ノ要領
ヲ、簡單ニモウ一度御述ベヲ願ヒマス

○綾部委員 度々平野君ノ御問ヒニ對シ大
臣ガ御答ニナッタ、省營「バス」ヲヤル場合
ハ、建設豫定線ヲ變ヘルヤウナ場合トカ、
ソレカラ 國有鐵道ノ路線ニ並行シタ線路
ノ、收益状態ヲ試驗スルトカ、ソレカラ特
ニ民營ニ於テ不便ナリト認メタ場合トカ、
斯ウ云フノハ省營「バス」ヲヤッテ、根本ハ民
營ヲ御認メニナル、斯ウ云フヤウナ御意思
ノヤウニ、平野君ノ問ニ御答ニナッタコト

ヲ、速記録デ拜見シタノデアリマス、ソレ
ハサウ云フ御答辯デアッテ、私ハ洵ニ結構デ
アルト申シタノデアリマス

○三土國務大臣 其通りデアリマス

○木檜委員 ソレハ尙ホ私共御確メシタ
イノデアリマスガ、私ハ前回ニ御伺ヒシタ
ヤウニ、一體鐵道省ガ省營「バス」ヲヤルコ
トハ、原則トシテ國家ガヤルベキモノデナ
イト云フノガ、私ノ建前デアル、鐵道ノ如
キ資金ノ掛ルモノ、又國防問題ニ重大ナ影
響ヲ有ッテ居ルヤウナモノハ、國家ガ大資本
ヲ掛ケテヤルノハ結構デアアル、併シ省營「バ
ス」ノヤウナモノハ、民業ガ最モ適シテ居ル
カラ、斯ウ云フモノハヤルベキモノデナイ、
斯ウ云フ考ヲ有ッテ居ル、所デ昨年委員會ニ
於キマシテモ、政府委員ノ申サレルノニ、
民間業者ヲ壓迫スルヤウナ事迄シテ省營
「バス」ハヤラヌ、斯ウ云フヤウナ御話デアッ
タ、此響ハ全國ノ自動車業者ニ好イ反響ヲ
與ヘテ、政府ハ眞面目ニヤッテ居ル業者ノ
營業權ニマデ立入ッテ、權利ヲ取ルヤウナコ
トハシナイト云フノデ安心シテ居ッタ、所ガ
其後政府ノヤリ方ヲ見ルト、鐵道大臣ノ言
ハレル所デハ、願出タカラヤッタ、併ナガラ
直グニハ出來ナイ、道サヘ出來レバ何處ヘ
デモヤッテヤルト云フヤウナコトノ、御答辯

ガアリマシタカラ、本年度ニ入りマシテカ
ラノ鐵道省ノヤリ方ヲ見ルト、今綾部君ニ
御答セラレタ民業ヲ壓迫シテハヤラヌト云
フコトハ、裏切ラレタヤウナ形ニナル、サ
ウシマス 此方面ニ携ッテ居ル業者ト云フ
モノハ不安ヲ感ズル、民間業者ニ不安ヲ與
ヘルト云フコトハ、政治ノ上カラ考ヘテ一
番惡イ、政府ガ今御答辯ニナッタヤウニ、餘
儀ナク省營「バス」ヲヤラナケレバナラヌト
云フノナラバ、是ハ一種ノ變則トシテ、民
衆交通ノ爲ニヤルノダカラ、ソレナラバ宜
シイガ、願ガ出レベドンノヤル、道サヘ
出來レバヤッテヤル、斯ウ云フコトニナレバ
業者ニ非常ニ不安ヲ與ヘル、不安ヲ與ヘル
ト云フコトハ、一般民衆ニモ不便ヲ與ヘル
コトニナル、何時出シ抜ケニ自分ガ營業權
ヲ得テ居ルモノヲ奪ハレルカ分ラヌ、此懸
念ガアルカラ、民衆ニ對スル交通業務ガ親
切ニ仕事ガ出來ヌ、或ハ道路ノ改修ニシテ
モ、業者ガ縣道デアリマスナラバ縣ニ寄附
ヲシテ迄モ、共ニ俱ニ改善ヲスルト云フコ
トハ、從來ノ歴史デアリマス、所ガサウ云
フコト迄モ不安ヲ與ヘルト、出來ナクナル
ト云フコトニナリマスガ、此點ハ十分ニ
御注意ヲ願ッテ、唯委員會デ民間業者ヲ壓迫
シナイヤウニスルト云フコトダケデ片付ケ

テ置イテ、事實施行ノ上ニ於テハ、民間カラ願方出テ縣方共鳴シテ道サヘ拵ヘレバ、何處デモヤッテヤル、此手ニ出ラレルト云フト、民間業者トシテハ、如何ニモ適當デアル業者ト云フモノガ、是ガ爲ニ大打撃ヲ受ケル、一方ニハ政府ガヤルノヲ、民間ニ營業權ヲ與ヘテ置イテ、民間同志ナラバ其業務ヲ讓ルトカ何トカ云ヘバ、ソコニ相當ノ施設ヲシタモノニ賠償モ付キマスケレドモ、政府ガ今マデ民間デヤッテ來タモノヲ、唯出シ抜ケニヤッテ、一年以内ニ廢メレバ涙金ヲ吳レル、斯ウ云フヤウナコトニナッテ居リマスカラ、此點ハ平野君並ニ綾部君ニ御答辯ニナッタヤウニ、政府ガ一路線一營業デ許シテ置イテ、相當ノ年月ヲ營業シ、資金ヲ投ジタモノヲ、鐵道省ガ之ヲヤルニ付テハ、綿密ナル過去ノ施設ニ投ジタ犠牲モ計算ヲシ、サウシテ常識上カラ見テ賠償ト云フモノハ個人ガヤルト同ジク、國家ガヤルナラバ尙ホ更相當ナ賠償ヲヤッテ、業者ニ安堵ヲ與ヘルト云フダケノ途ヲ付ケマセスト、今迄ノ經過ニ依ルト云フト、所謂長イモノニハ卷カレル、一年以内ニ廢メタラ涙金ヲ吳レテヤル、斯ウ云フコトデアルカラ、如何ニモ議會政治ノ今日ニ於テ、政治ノ遣方ガ逆行シテ居ル、是ハ三土鐵道大臣ノ心

デハナカラウト思フ、此點ヲ能ク御注意ヲ願ヒタイト私ハ思フ、委員會ニ於ケル御答辯ノ通り、眞面目ニ民間業者ヲ壓迫シナイト云フコトヲ、事實ノ上ニ現レルヨウニシテ、唯其時逃レノ答辯デナイヤウニシテ戴キタイ、私ハ此注文ヲシタイ、私共ハ別段自動車業ニ關係モ何モナイケレドモ、全國デ此問題ニ觸レテ、隨分不平ヲ訴ヘテ居ルケレドモ、知事ガ一緒ニナッテ太鼓ヲ敲クモノダカラ、其者ニ卷カレテ居ルト云フノガ、今日ノ情勢デアリマス、此點ニ對シマシテ、昨年ノ政府委員ノ答辯サレタ、民業壓迫ノヤウナ省營「バス」ハ、斷ジテヤラヌト云フ御答辯ガ裏切ラレテ居ルカラ、今後ハ是ガ裏切ラレナイヤウニ、眞面目ニ民間業者ノ業態ニ對シテハ斷ジテ壓迫ヲ與ヘヌ、若シ與ヘルヤウナコトガアルナラバ、豫メ之ニ向ッテハ協議ノ上ニスルト云フダケノ御答辯ヲ願ヒタイ

○三土國務大臣 大體ソレデ宜シイノデアリマスガ、先達申シマシタ通り、木楡君ト私共ハ自動車ノ經營ニ付テハ、餘程根本ノ考ガ違フヤウニ思フ、吾々ハ今日迄ノ自動車ト云フモノハ、マダ發達ノ初歩ニアル、將來餘程發達スルト思フ、隨テ國ガ交通運輸機關ヲ完全ニ働カセヨウト思ヒマス、相當ノ程度マデ國自身ガ、自動車經營ヲシナケレバナラヌ、斯ウ考ヘルノデアリマス、地方ガ言フテ來タカラヤルト云フノデハナクシテ、鐵道ノ運輸系絡上、地方産業ノ開發、交通便利ト云フヤウナコトカラ、綜合的ニ考ヘテ見テ、是ハ國ガヤッタ宜カラウ、斯ウ云フ見込ヲ付ケタモノダケヤル、現ニ民業デヤッテ居ルモノハヤラヌトシマス、ヤル所ハナイト云フコトヲ申シタノデアリマスガ、ソコハ程度ノ問題デアリマス、出來ルダケ民間デヤッテ居テ、ソレデ前ニ申サヤウ目的ヲ達シテ居レバ、何モ國ガヤル必要ハナイ、ソコハ事實ノ問題デアリマスガ、結局ハ國ガ民間デヤッテ居ル自動車經營ヲヤルト云フ場合、現在ヤッテ居ル人ニ對シテ、ドレダケ賠償スルカト云フコトガ、一番大キナ問題デ、ソレニ付キマシテハ慘酷ナ場合ガアルヤウデアリマスカラ、餘程考ヘナケレバナラヌ、斯ウ云フコトヲ申シテ居ルノデアリマス、繰返シテ申シマスガ、民間デヤッテ居ッテ、ソレデ交通運輸系絡ノ上カラ見テ十分ダト云フモノハ、何モ國ガヤルト云フ必要ハナイノデアリマス、併シ當業者自身カラ見マス、自分ノ方デハ満足シテ居ルヤウニ見エマスケレドモ、其地方ノ人ガ見、吾々ガ廣イ眼カラ見テ、アレ

デハイカヌト云フコトヲ考ヘマス、之ヲヤラナケレバナラヌ、國ガヤルト云フノハ、國家全體ノ大局カラ見マシテ、必要ト云フ場合ニヤルノデアリマシテ、決シテ徒ニ民業ヲ壓迫スルト云フコトハシナイノデアリマス

○木楡委員 只今鐵道大臣ノ仰セラレルヤウニ、私トハ根本ノ意見ガ違ッテ居ル、併シ私ハ此鐵道大臣ノヤウニ、鐵道ノ系絡ガ不便ダカラ、省營「バス」ヲヤラナケレバナラヌ、若シ私ノ言フヤウニスレバ、チットモヤルコトガ出來ヌト仰セラレル、私ハヤラヌデモ宜イト思フ、法律デ國有鐵道ト云フ原則ヲ置イタ以上、今日敷設法ガ出來テ居ル、其敷設法ハ昨日モ鐵道大臣ガ貴族院デ言ハレタヤウニ、洵ニ中ニハ不必要ナ改廢スベキ場所モアルト云フノデアリマスガ、私ハ敷設法デ設ケラレタモノデ、改廢スベキモノハ順ニ遠慮ナク改廢ノ案ヲ御出シニナッテ、政府ガ省營「バス」デヤラウトシタモノハ、民業ニ適當シタモノデアアルカラ、民業ニ委シテ置イテ宜イト思フ、私ハ其點ハ根本ノ原則ガ違ッテ居ル、何モ運輸系絡ガ都合ガ宜シイカラトテ、民業デヤッテ居ルモノヲ政府ガヤル必要ハナイ、サウナリマス、更ニ進ンデ、小サイヤウナ問題ダガ、ソレデ

ハ人力車ノ便宜ガ宜クッタラバ、政府ハ之ヲヤラナケレバナラス、原則ハ鐵道ハ資金ヲ要シ國防ノ關係モアルカラ、法律決メテラレテ居ルカラヤル、ヤル必要ガナケレバヤラナイデ宜シイ、何モソナニ民間ニ適切ナ業務デアルモノ迄奪ッテ、ヤルコトハナカラウト思フ、私ハ此點ハ原則トシテ局ニ當ッタ者ハ、此方針デ行クベキモノデアルト確信シテ居ル、ソレデスカラ出來ルコトナラバ、何モ政府ガ無理ヤリニ系絡上、民間ノモノヲ奪ッテヤルト云フヤウナコトヲセズ、今日ドウシテモ不便ナ場所デ交通ガ開ケテ居ラス、斯ウ云フ場所ダケハ政府ガ爲サル、或ハ鐵道代行線ノ代リニヤル、斯ウ云フコトヲヤッテ戴クコトニシテ、成ベクハ政府ハ之ヲ遠慮シテ貰フ、ソレ程民間業者ノ事業ニ迄モ、オ金ヲ投ズル餘裕ガアルナラバ、特別經濟カラ一般會計ニ出シテ所謂農村方面ニデモ出シテ貰フ方ガ宜イト思フ

テ居リマス、何レニシテモ出來ルダケ政府ハ、鐵道本來ノ目的ニ副フヤウニ、事業經營ヲ遊バサレテ、省營「バス」ト云フヤウナコトハ、成ベク御遠慮ナサルヤウニ私ハ願ヒタイト思フ

○原委員長 ソレデハ「バス」ニ關スルコトハ、是デ終了致シマシタ、建設ニ付テ特ニ

御許致シマス、佐竹直太郎君

○佐竹委員 此際私ハ一言御伺致シマス、

過日仙波君ノ御質問ニ對シテ、大臣カラ御答辯ガアリマシタガ、今中部日本ニ於テ太平洋洋ト日本海ヲ結ブ、最短距離ニ在ル所ノ關ケ原木ノ本線、之ヲ極メテ近キ將來ニ實現サレル趣ニ、大臣ノ御答辯ヲ得マシテ、非常ニ満足致シマシタ、關ケ原以北ハソレデ宜シイガ、關ケ原以南、關ケ原四日市間ノ連絡ヲ完成スルニ非ザレバ、此目的ヲ達成スルコトハ出來ヌノデアリマス、元々四日市木ノ本線ハ勢江線ト稱シマシテ、鐵道敷設法ニアッタノデアリマス、ソレヲ田中内閣ノ時ニ鐵道敷設法カラ削除シテ、關ケ原カラ四日市間ノ路線ヲ、私設鐵道ノ三岐鐵道ニ許可ヲ與ヘラレルコトニ相成ッタノデアリマス、其時ニ吾々ハ折角國有鐵道ヲ建設スルコトニ計畫ニナッテ居ルモノヲ、逆戻リシテ之ヲ私設鐵道ニ許可スルト云フコトハ反對デアアル、大ニ反對ノ意見ヲ主張致シタナイ、政府ノ計畫ニ依ッテ此鐵道ヲ實現スルト云フコトハ、相當ノ年月ヲ要スル、寧ロ此際之ヲ私設鐵道ニ許可シテ、速成セシメタ方ガ早ク出來ル、ソレデ之ヲ私設會社ニ許シタ方ガ宜イト云フ答辯デアリマシタ、

所ガ四日市カラ藤原迄ノ間ハ、三岐鐵道ハ之ヲ建設スル意思ハアルノデアリマスガ、藤原カラ關ケ原迄ノ間ハ、建設ニモ難工事ノ場所モアリ、比較的引合ハナイコトニナルノデアリマス、若シ之ヲ三岐鐵道ニ許シタト致シマシテモ、半分ハ早く出來ルデアラウガ、殘ノ半分ハ容易ニ出來ル見込ガナイノデアアルカラ、ソレハ宜シイカト、斯ウ私ハ念ヲ押シマシタラ、若シ之ヲ議會デ通過シテ、之ヲ削除スルコトニナッタ場合ニハ、鐵道會社ニ對シテ全線ヲ速成セシムルト云フ命令ヲ出シ、若シ其命令ヲ遵奉シナカッタ場合ニハ

〔原委員長退席中野委員長代理著席〕

再び之ヲ國有鐵道ニ取上ゲテ、買收シテ政府自ラ之ヲヤルノデアアル、之ヲ許可スル場合ニ於テハ、ソレヲ條件トシテ許可ヲスルモノデアアルカラ、全線ノ開通ハ間違ナイノデアアルカラシテ、是ハ安心スルガ宜カラウ、斯ウ云フ言明デアッタノデアリマス、所ガ一方吾々ノ豫見ガ的中シマシテ、藤原迄ハ開通致シタノデアアルガ、ソレカラ關ケ原迄ハ容易ニ開通シサウデナイ、此儘デ置ケバ是ハ餘程好景氣デモ來ルカ、又ハ長イ年月デモ經タナケレバ、藤原關ケ原間ノ建設ハ難カシイモノト想像サレルノデアアル、ソレデ

折角藤原木ノ本線ガ出來テ、日本海ト太平洋トノ最短距離ノ鐵道ガ出來ルコトニナリマシテモ、藤原關ケ原間ガ實現シナケレバ其效果ヲ成サヌノデアアル、政府ニ於カレテハ其時ノ條件ニ依ッテ、三岐鐵道ヘ之ヲ速成セシムル嚴命ヲ下サレテ、速ニ此實現ヲ期セラル、カ、又ハ其時ノ言明ニ依ッテ再び之ヲ國有鐵道ヘ戻シテ、サウシテ其開通ヲ早クセラレルカ、何レカニ實現ラシテ戴カナケレバナラスト存ズル次第デアリマスガ、之ニ對シテ御當局ノ御意見ハ如何デアリマスカ

○三土國務大臣 關ケ原木ノ本間ハ建設ノ必要ガアルコトハ、先達申シタ通りデアリマス、關ケ原カラ四日市マデ抜カナケレバ短距離ニシタ價值ガナイヤウニ言ハレマスガ、鐵道トシテハサウ見テ居ラヌノデアリマス、日本海方面ト四日市ト繋グナドト云フコトハ、大シタ問題デハナイ、名古屋カラ以東ニ行ク方ガ必要ナノデアリマス、併シ鐵道豫定線ノ中ニマダアルノデアリマス、今西藤原迄ヤッテ居リマスガ、之ヲ今日ノ場合ニ於テ、ドウ云フ話ガアッタカ知ラヌガ、私設鐵道ニ對シテ、關ケ原マデ早く延バセト云フコトヲ、強要スルコトハムジカシイ、無理ダト思フノデアリマス、然ラバ

國方ドウスルカト云フコトデアリマスガ、先ヅ關ケ原本ノ本ヲ繫イデ、其後ヲ國有鐵道トシテ、豫定線ヲ關ケ原カラ四日市マデ延バスカト云フコトハ、相當考慮ヲ要スル問題デアルト思フデアリマス、急ナコトデナイト思フデアリマス

○佐竹委員 尙ホ一言伺ヒマスガ、其時ニ此線路ヲ國有鐵道カラ省クコトニ對シテハ、可ナリ強イ反對ガアッタノデアリマス、鐵道當局ハ左様ナ風ニシテ、必ズ實現セシムルモノデアル、寧ロ私設鐵道ニ許シタガ、實現ガ早クナルガラウ、其點ヲ考慮シテ、此削除スル案ヲ通過シテ欲シイト云フヤウナ御話ガアッテ、三岐鐵道ニ許シタノデアリマス、サウ云フ關係デアリマスカラ、此

藤原關ケ原因ガ此儘デ何時迄モ出來ヌト云フコトデアルト、此關係地方ノ者ハ一寸一杯喰ッヤウナ形ニナッテ、非常ニ失望スルコトデアリマスカラ、是ノ實現ニ對シテハ特ニ當局ノ御努力、御配意ヲ希望シテ置キマス

ソレカラ次ニ越美線ガ今日ノ實際上ニ於キマシテハ、關カラ太田ノ方ヘ東ニ向ッテ出テ行ッテ居リマス、岐阜縣ノ首都タル岐阜ヘハ高山線ヲ以テ連絡スルト云フ形ニナッテ居リマス、岐阜カラ北越ニ對スル所ノ連絡

ハ、一寸廻リ道ヲシテ居ルヤウナ關係ニナッテ居ルノデアリマス、是ハ岐阜ヲ起點ト致シマシテ、岐阜ノ北部ヲ通過シテ、關若クハ美濃町ニ於テ連絡スルヤウニ、建設ヲシテ戴キマス、關岐阜間ノ電鐵ヲ買收スルノ必要モナク、又岐阜以北ノ開發ニ非常ナル效果ヲ來スト思フデアリマスガ、政府ニ於テハ之ニ對シテ御計畫ナサッタヤウナコトガアリマスルカ、若シナイト致シマスレバ、之ニ對シテ十分ノ御調査ヲ御願致シタイト思フ次第デアリマス

〔中野委員長代理退席、委員長著席〕

ソレカラ今一ツハ越美線ノ八幡ト高山線ノ高山トノ間ヲ連絡スル路線ハ極メテ重要ナ所デ、且又山村開發ノ上ニ於キマシテモ極メテ必要デアルト思フデアリマスルカ、此二點ヲ連絡スル鐵道ヲ建設サレル御意思ガアリヤ否ヤ、若シ左様ナ所迄ハ容易デナイト云フコトデアレバ、此間ニ省營「バス」ヲ開通サレテハドウデアリマセウカ、是等ニ對シテ御研究ニナッタコトガアリマスルカ、若シマダ御調査ニナッテ居ラヌト致シマスレバ、之ニ對シテ御調査ヲ願ヒタイト思フデアリマス

ソレカラ今一ツハ越美線ノ岐阜縣ト越前トヲ連絡スル路線ノ油坂ヲ通ル線、之ヲ油坂

ヨリモ北ノ石徹白ヲ通過シテ欲シイト云フ要望モアルノデアリマス、是ハ工事ノ難易ト云フ上ニ於テハ同ジヤウナモノニ思ハレルノデアリマス、尙ホ石徹白ノ方ニハ近來石炭鑛ノ立派ナノガ發見サレマシテ、若シ彼方ノ方ヘ鐵道ガ通過スルト云フコトデアレバ、是等ノ利益ハ鐵道ノ運賃ダケデモ年額五十萬圓以上モ收入シ得ルト云フヤウナコトヲ申シテ居ルノデアリマスガ、是等ノ方面ト比較調査シテ十分御研究ノ上御決定願ヒタイト思フデアリマス、是等ニ對シテ御調査ヲシテ戴クコトヲ希望シテ置ク次第デアリマス、若シ是等ニ對シテ既ニオ調ニナッテ居ルヤウナコトガアリマシタラ、此際御漏シテ願ヘレバ結構ダト思ヒマス

○池田政府委員 御答致シマス、越美線ヲ太田ヘ繫ガナイデ岐阜ヘ繫イダラドウカト云フノガ、第一ノ御質問ノヤウデアリマスガ、是ハ御話ノヤウニサウ云フ線路モゴザイマスノデ、現在ハ太田カラ出發致シテ居リマスケレドモ、當局ト致シマシテモ調査致シタイト云フ意嚮ヲ有ッテ居リマス、マダ其調査ハ致シタコトハアリマセヌガ、サウ云フ考ハ持ッテ居リマス、今後尙ホ調査シテ見タイト云フ積リデ居リマス

ソレカラ八幡ト高山トノ間ヲ自動車ヲ繫イ

ダラドウカト云フコトデゴザイマスガ、是ハマダ道路モ立派ナモノガゴザイマセヌヤウデ、一應技術的ニ調査致シマセヌトドウ云フコトニナリマスカ、今日デハハッキリシタ御答ヲ申上、ゲル材料ヲ持ッテ居リマセヌ、一應調査致シタイト思フデアリマス

ソレカラ越美北線ノ白鳥カラ先キ、油坂ヲ通ルカ石徹白ノ方ヘ行クカト云フ御質問ノヤウデアリマスガ、是ハ御話ニモアリマシタ通り現在慎重ニ調査シテ居ル次第デアリマス、概要ノ測量ガ濟シタ程度デ、マダドチラガ有利デアアルカドウカト云フコトヲ決メテ居リマセヌ、今後能ク慎重ニ調査致シタイト思ッテ居リマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○佐竹委員 モウ宜シウゴザイマス

○原委員長 ソレデハ建設ニ付テ一瀬君、高橋君ノ質問ガアリマス、運送ニ關シテハ次會ニ買收法案ガ出マスカラ、其時ニ質問ヲ許シマシテ、此二君デ午前中ニ質疑ヲ打ちタイト思ヒマス、左様御承知ヲ願ヒマス——一瀬君

○一瀬委員 一寸政府委員ニ御伺致シタイ、併行線ト云フノハ線路ト線路トノ距離ガ三哩迄ト云フヤウナコトヲ聞イテ居リマスガ、何哩迄ガ併行線ト云フ規則デモアリ

マスカ

○池田政府委員 別ニ規則ハゴザイマセヌ

○一瀬委員 坂戸町カラ越生ト云フ坂越線ト、今回ノ大宮高麗川ノ豫定線デアリマスガ、是ハ一見シタ所一里以内ノ處モアリマス、若シ大宮、高麗川ニ豫定線ガ出来レバ、此間ニ問題ノ起ルヤウナコトガアリマセヌカ

○池田政府委員 一應監督局デ調べテ見タノデアリマスガ、ソレニ依リマス、只今ノ見込デ取立テ、申上ゲル程ノ影響ハナイト云フ見込ヲ持ッテ居リマス、勿論坂戸ト高麗川ノ間ダケ今開業致シテ居リマスガ、是ガ越生マデ行キマスレバ、御話ノヤウニ大分併行スル線路デアリマス、貨物ニ對シテ多少ノ影響ガアリハシナイカト云フヤウナ調ベガアリマスガ、是ハ現實ノ問題デアリマスカラ、只今ノ見込デハ大シタ問題ハナイト思ッテ居リマス、實際ニ影響ガアレバ何トカ考慮シナケレバナラヌト思ヒマス

○一瀬委員 鐵道大臣ニ一口御伺シタイガ、此大宮高麗川間ノ豫定線ニ付テハ、鐵道大臣ハ經費ノ問題ヲ主トシテ居ラレルヤウニ伺ヒマシタガ、此線ノ關係上、經費ノミニ——固ヨリ經費ト云フコトハ重大ナ問題デアアルコトハ論フ俟チマセヌガ、村落ニ

シテモ、例ヘバ殆下山デアルトカ云フヤウナ所ニ線路ヲ敷設スル場合ニ、經費ノミヲ主トサレルト云フコトハドウ云フモノデアルカ、俗ニ南西、私ノ主張シテ居ル所ノ大宮カラ川越ヲ經テ、入間川、豐岡、飯能ニ至ル此線デアリマスガ、是ハ現在ニ於テモ先般モ申シマシタ通り、高麗川方面ノ此豫定線カラ見ルト何十倍ト云フ村民ガ密集シテ居ル、而シテ現在ノ乘客カラ云ッテモ、產物其他ノ運搬、將來ニ於ケル發展、斯ウ云フ方面カラ推シテモ、ドウシテモ此方面ニ依ラレルコトガ當然デアルト思ヒマスガ、何レニシテモ此經費ノ問題ヲ主眼トサレルト云フコトハドウ云フ譯デアアルカ、此點ヲ一寸伺ッテ置キタイト思ヒマス

○三土國務大臣 此鐵道ハ國防第一デアリマシテ、ソレカラ第二ニハ東北本線、ソレカラ上越線、是等ト連絡ヲ取ルト云フノガ第二ノ目的デアリマスガ、ソレヲヤルナラバ、序ニ鐵道ノ餘リ惠マレテ居ラヌ所ヲ通ッタ方ガ宜イデヤナイカト云フコトヲ考ヘ、ソレカラ經費、サウ云フコトカラ考ヘタノデアリマス、ソレハ入間川ノ方面ニハ、主トシテ東京ニ向ッテ集ッテ來ル私設鐵道ガ随分アルカラ宜イデヤナイカト云フ考デ、今ノヤウニシテヤッテ居リマス、屢、申ス通り、

飯能附近トナッテ居ルノデアリマシテ、要スルニ色々調べタ上デ、飯能附近サへ通レバ宜イノデアリマスカラ、能ク研究ハ致シマスガ……

○原委員長 次ニ高橋君

○高橋委員 建設局長ニ伺ヒタイノデアリマスガ、國有鐵道建設ニ付テ、土地ノ買收、移轉料ノ交付等ノ評價方ニ關シテ御尋シテ置キタイト思ヒマス、此事ハ盛岡山田線ノ建設ニ當リマシテ、岩手縣ノ山田町附近ニ起キタ事柄デアリマス、登記面上宅地トナッテ居ル所ノ土地買收ニ當リマシテ、其處ノ宅地ノ所有者ガ不在デ、一部分荒シテアル土地ガアル故ヲ以テ、登記面上宅地トアルニモ拘ラズ、ソレヲ畑地ト認定シテ坪八十錢——全部デヤアリマセヌガ、一部分ハ畑地、一部分ハ宅地ノ値段デ買上ゲタト云フコトデアリマス、是ハ少シ無理デヤナイカト思フ、如何ニモ現在ハ荒シテアルカモ知レマセヌガ、其主人ガ歸レバ、又元ノ宅地トシテ働クノデアリマス、又其所有者ガ鐵道ノ用地買收ノコトヲ見越シテ、高イ利子ヲ拂ッテ長年ノ間畑地ヲ宅地トシテ居ッテ譯デモナカラウト思フ、農家ハ相當庭前ノ廣イコトヲ必要トスルノデアリマスカラ、主人ガ居ッたり居ラナカッタリスル關係カラ、如

何ニモ宅地トシテ使用セラレナイ部分モ場合ニ依ッテハ生ズルノデアリマスガ、サウ云フ所ハ極ク公平ニ見テ戴キタイト思フノデアリマス、モウ一ツハ、其宅地ガ二百五十坪バカリアルサウデアリマス、後ロガ山デ前方數尺高イ石崖ノ宅地、此一部分ヲ買收サレマスト、農家トシテハ庭前ガ狭クナルカラソレヲ突出サウトスルト、石崖ヲ築イタリ、土砂ヲ盛ッタリシナケレバナラヌ、サウスルト到底坪三圓ノ宅地買收費デハ引合ハナイト云フノデアアル、恐ラク坪三圓ト云フノハ、其方面ニ於ケル宅地ノ買收標準價格デアラウト思ヒマスガ、一概ニ標準價格ニ膠著シテ、宅地ノ一部分ヲ買取ラレタ爲ニ、全體ノ宅地ノ價值ヲ減損シタ場合ヲ考ヘテ居ラレナイ嫌ガアルト思フノデアリマス

ソレカラ家屋ノ移轉料デアリマスガ、貫洞清五郎ト云フモノ、土地及ビ家屋ノコトデアリマスガ、移轉料ヲ決メルニ當ッテ坪八圓幾ラニナルサウデアリマス、是ハ相當舊家デアリマシテ、大キナ材料ヲ使ッテアルノデアリマスガ、移轉ヲサセラレルト根柢モシナケレバナラズ、相當金ガ掛カル、到底八圓デヤイカスト云フ實狀ガサウデアリマス、所ガ其附近ニハ昨年アタリデアリマシタガ、土地ノ移轉料ハ坪十五圓、サウ云フ見

積ノモノガアツタ、其家ノ材料ハ大シテ大キイ譯ヂヤナイ、恐ラク移轉料ノ交付ニ當ッテ家屋ヲ買收スルヤウナ考デ、移轉料ノ標準ヲ御決メニナツタノヂヤナイカト云フ嫌モアルノデアリマス、而モ聞ク所ニ依ルト、十五圓ノ移轉料ヲ貰ッテ居ル人ハ、其方面ニ於ケル有力家デアリ、又建設事務所ノ土地係ノ人ノ手先ト言ッチャ悪イカモ知レマセヌガ、其方ニ盡力ヲシテ居ル人ト聞イテ居リマス、是ナドモモウ少シ公正ヲ得ルヤウニ考ヘテ戴カナケレバナラヌト思フ、殊ニ酷イノハ水溜桶、容積カラ云ヘバ三坪カ四坪アルサウデアリマスガ、其評價方僅ニ一圓ダト云フノデアリマス、是ハ酷イト思フ(笑聲)材料代ニモナラナケレバ、殆ドドウ云フ所デサウ云フ評價ヲサレタノカ、吾々ハ見當ガ付カヌノデアリマス、其事ニ付テ私モ餘リ酷イト思ヒマシテ、建設事務所ニモ行ッテ其事ヲ話モシマシタシ、書面モ出シタノデアリマスガ、其係ノ石澤ト云フ人ガ私ノ所ニヤツテ來テ、サウ云フコトハ何卒穩便ニ話シテ貰ヒタイト言ッテ來マシタカラ、私モソレニ付テ色々聞イテ見マシタガ、今申述マシタヤウナ事ニ對シテ彼ハ否認ラシタリ、或ハ辯解ガ出來ナカッタト私ハ信ジテ居リマス、多少ノ修正ヲスルグラウト思フ

テ居リマシタガ、手紙デハアレヨリ變ヘルコトガ出來ナイト云フコトデアアル、ドウモ是ナドハ、役人ガ自分デ一遍調ベタコトハ何處マデモ之ヲ押通シテ行クト云フ小サイ考ニ囚ハレテ居ルノヂヤナイカト思フ、私ノ方ハ可ナリ貧乏ナ處デアリマシテ、官尊民卑ノ處デアリマス、ソレヲ斯ウ云フヤウナコトヲ押通サレルコトニナリマス、私共黙ッテ居ル譯ニ行カヌノデアリマス、開ケタ處ノ土地買收ナドハ、相當色々ナ眼モ利クノデアリマスガ、是等ノ邊鄙ナ所ニ行キマス、往々ニシテ人ノ所有權ヲ徒ニ公益トカ、政府事業トカ云フコトニ依ッテ、押倒シテ行ク嫌ノアルコトハ、甚ダ遺憾ト思ヒマス、殊ニ此移轉料、此程度ノ買收費デハ結局引合ヒマセヌカラ、止メテ下サイト云フ上申ニ對シテ、建設所ノ係ノ方カラ、ソレナラバ宜シイ、政府ハ費用ヲ厭ハズ高イ石垣ヲ作ッテ、オ前ノ家ノ後ヲ鐵道ヲ通スト云フ意味ノ文書ヲ出シテ居ルノデアリマス、甚ダ私ハ怪カラヌト思フ、事ハ諸君ノ御笑ヒニナル程小サイ事デアリマスケレドモ、是等ヲ以テ推シテモ出先ニ於ケル役人達ガ、可ナリ官權ヲ肩ニ隨分酷イコトヲシテ居ルノデハナイカ、鐵道當局ノ深甚ナル御考慮ヲ煩ハシタイト思ヒマス、次ニ是ハ

伺ウノデアリマスガ、岩手縣下ニ今年中ニ開設セラレル停車場、及ビ開設ノ豫定年月ノ御知ラセテ戴キタイ

○池田政府委員 昭和九年開業ノ豫定ヲ申上ゲマス、山田線ハ宮古マデ夏頃開業スル豫定ヲ持ッテ居リマス、陸中川井カラ宮古マデ二十八軒六分、ソレヲ今年ノ八九月ノ頃開業スル豫定デアリマス、ソレカラ大船渡線ハ細浦カラ大船渡マデ、是レモ秋頃――

九月カ十月頃開業スル豫定デゴザイマス、此二ツデゴザイマス、今驛名ヲ申上ゲマス、山田線ノ驛名ヲ申上ゲマス、陸中川井ノ次ガ腹帶、其次ガ茂市、ソレカラ葦目、ソレカラ千徳、宮古デアリマス、ソレカラ大船渡線ノ方ハ、細浦ノ次ガ下船渡、ソレカラ大船渡此二ツデゴザイマス

○高橋委員 來年ノ方ハ御分リニナリマセヌカ

○池田政府委員 來年ノ方ハマダ豫定ガアリマセヌ

○原委員長 木檜君カラ二三分開關聯シテ聽キタイト云フコトデアリマスカラ、此際特ニ許シマス

○木檜委員 大臣ニ伺ヒマスガ、先月十五日ノ委員會ニ於テ、清水委員カラ中津鐵道線ニ付テ質問ヲ致シタノデアリマス、其時

ノ御言葉ニ、此線ハ添田日田線ト比較シテ添田日田線ノ方ガ、經濟的ニモ宜シイノデアツテ、ソレガ爲ニ一方ハ變更ヲ致シタノデアルト仰セニナッテ居リマス、詰リ是カラ見ルト、大分縣中津ヨリ日田ニ至ル鐵道ト云フモノハ、經濟的ニ添田日田線ガ宜シイカラ、變更シタト云フヤウニ聞エルト、敷設法ノ豫定線ノ方ハ、自然廢止ニナルヤウニ聞エルノデアリマス、私ガ申上ゲル迄モナク、中津線ハ昨年守實マデ工事ヲ致サウトシテ、鐵道省ノ認可ヲ受ケル時ニ、鐵道省ハ將來本鐵道トノ聯絡ヲ圖リ、軌間ノ三呎六吋マデ命令シテ、實施期間ガ三箇年デアツタ、經濟上ノ狀態デ會社ガ延期ヲ願ッタガ、ソレモ許サナイデ嚴格ニ命令ヲシテ、到頭三呎六吋マデ改良ヲサセテ、何處迄モ本鐵道ト聯絡ヲサシテ、近イ將來ニハ買收若クハ本鐵道ノ準備ニ立入ル程度ニナッテ居ッタコトヲ、私ハ承知シテ居ル、今日守實カラ日田迄ハ僅カ十一哩デスガ、其處ノ所ヲ總テ經濟的ニ見テ宜シクナイカラ、突如トシテ添田日田間ニ改メタト云フコトデ、而モ敷設法ニ追加スルト共ニ、建設迄モ來年度ニヤルト云フ急激ナ變化デアアル、御説明ヲ聽クト云フト、從來ノ歴史カラ言ッテモ、政府ハ會社ガ經濟的ニモ辛イノヲ延期モ許サナイデ、

三呎六吋ニ命令ヲシテ、サウシテ實行迄モ致サセテ、何處迄モ本鐵道ト連絡系統ヲ取ルヤウニナサツテ居ッタノガ、大臣ノ説明ニ依ルト、經濟的ニ添田日田線方宜イカラ、

此方ハ止メテ變更シタノデアルト云フコトニナルト、地元關係、長イ間ノ歴史、今日マデ參ッテ居ル所謂敷設法ノ百十號、大分縣中津ヨリ日田ニ至ル線ト云フノハ、自然ニ廢止ニナルヤウニ御説明上解釋ガ出來ル、其點ニ對シテ鐵道大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイ

○三土國務大臣 中津カラ日田へ貫通スル鐵道ヲ、豫定線ト致シマシタ當時ニ於キマシテハ、アノ外ナカッタノデアリマス、所ガ最近技術ノ進歩ニ依リマシテ、建設規程、運輸規程ヲ變ヘルコトニナリマシテ、ソレヲ變ヘマスガ、添田日田間ガ非常ニ經濟的ニ行ケルノデアリマス、サウナツテ經濟上已ムヲ得ズ彼處ヲ附加ヘタダケニ過ギナイノデアリマス、アレガ有ルガ爲ニ、中津日田間ヲ豫定線カラ除イタト云フノデハナイノデアリマス、彼方ノ方ガ割ガ安ク、都合ガ好イカラ、先ヘヤツト云フコトデアリマシテ、是カラアトハヤルカヤラヌカ、將來考究スル積リデアリマス、豫定線トシテハアルノデアリマス

○木檜委員 實ハ何方デモ同ジコトデゴザ

イマスガ、全國的ニ擴ッテ居ル豫定線デアリマス、私ノ伺ヒマシタノハ今申シタヤウニ、鐵道省ノ鐵道建設ノ認可ヲ受ケルモノニ條件ヲ附シテ、本鐵道ト連絡ヲ圖ル爲ニ、隨分社ガ經濟的ニ辛イ所ヲ、無理ヤリニヤラセタノデアリマス、何方デモ宜シイデスガ、出來ルコトナラバ、斯ウ云フ事ハ系統的ニヤツテ戴イタ方ガ宜イト思ヒマス、土地ノ既設ノ會社モ、隨分經濟的ニ惱マサレルコトニナリマスカラ——私ガ伺ッタノハ、是ガ爲ニ此變更ヲ決定シタト云フコトニナツテ、詰リ自然ニ廢止ニデモナツカト思ッテ伺ッタノデアリマス

尙今一ツ確メテ置キタイノハ、私共ガ見タ此方面ノ經濟的ニモ相當算盤ハ採レルト、斯ウ思ッテ居リマス、隨テ清水君ニ答辯シタ時ニ、此方面ノ建設費ト云フヤウナコトモアリマシタガ、是ハ古イ時代ノ設計デアリマスカラ、今日トハ餘程違ッテ居ルト思フ、日田添田間ハ新シイ建設ノ設計デアリマシテ、所謂日田中津間ヲ設計シタ當時トハ、數字ニ於テモ大層違ッテ居ルト思フ、何レニ致シマシテモ、守實マデ出來テ居ッテ、アト十一哩ト云フノガ、今自動車ガ動イテ居ルヤウナ譯デアリマスカラ、鐵道大臣ノ所謂運輸ノ系統ト云フ方カラ見テモ、政府ハ既

ニ軌間ヲ三呎六吋ニマデ無理ヲシテヤラシテ、連絡系統ガ好クナツテ居ル以上ハ、成ベク早く此方面ハヤツテ戴ク、隨分辛イ思フシテ、社債迄モ起シテ、民間ノ會社ガヤツテ居ルノデアリマスカラ、出來ルコトナラバ、成ベク斯ウ云フ方面ハ、早く御著手ヲシテ戴クト云フコトガ、運輸上カラ申シ、又地方ノ經濟上ノ利益ノ爲ニモ、社ヲ活カス爲ニモ、斯ウ云フコトヲヤルノガ當然ノ遣口デハナイカト思ヒマスガ、此點ニ對シテ近キ將來ニ於テ、是ニ著手スルヤウナ御計畫ニナツテ居リマスカドウカ、此點ヲ御伺シテ置キタイト思ヒマス

○三土國務大臣 今ノ所デハ、マダ著手スル計畫ハ有ッテ居リマセス

○原委員長 宜シウゴザイマス

○木檜委員 サウスルト、此線ハ當分著手スル見込ガナイト云フコトニナリマスノデスカ、サウ云フ譯デアリマス

○三土國務大臣 見込ガナイト云ヒマスカ、今ノ所デハマダ建設スル計畫ヲ考ヘテ居リマセス

○原委員長 木檜君宜シウゴザイマス

○木檜委員 宜シウゴザイマス

○原委員長 ソレデハ本案ニ對スル委員ヨリノ質疑ノ通告ハ、全部終リマシタ、仍テ

○門田委員 此法案ニ付キマシテハ政府當局ノ御意見モ屢々承ッタノデアリマス、鐵道敷設ニ付テハ、偶々其線ヲ誤ルコトニ依ッテ、或ハ繁華ナ土地ガ寂レ、若クハ村ガ寂レルトカ、斯ウ云フ風ナ關係ガアリマシテ、其影響スル所極メテ多イノデアリマス、隨テ此法案中ノ埼玉ノ大宮ヨリ川越ヲ經テ飯能附近ニ至ル線ニモ、北ヲ通ルカ或ハ南ヲ通ルカト云フコトニ依ッテ、相互ニ相當ノ陳情ガアリマシテ、吾々モ惱マサレテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ關係ガアリマスルカラ、實施ニ當ッテハ其線ハ勿論、高知縣ノ須崎窪川間ノ工事ニ當リマシテモ、或ハ海岸ヲ通ルトカ、或ハ町ニ接近シタ所ニ成ベク停車場ヲ置クトカ、斯ウ云フコトデ、地元ノ町村民ノ希望ダケハ成ベク滿シテ戴キタイ、勿論滿シテ戴キタイ中ニモ、政府ノ見ル所

午後一時四十八分開議

○原委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、直チニ討論ニ入りマス——門田新松君

午後零時十二分休憩

デ今後ノ豫想發展、或ハ物資ノ集散等、總テ御考慮ニナルノハ勿論デアリマスガ、其邊ハ出來得ル限り公平ニヤッテ戴キタイト思フノデアリマス、隨テ茲ニ本案ニ賛成致シマスルニ際シテ、附帶決議ヲ附ケタイト思フノデアリマス、其附帶決議ハ

政府ハ大宮ヨリ川越ヲ經テ飯能附近ニ至ル線ノ敷設ニ付實測調査ノ上四圍ノ事情ヲ考慮シ最善ヲ盡スヘシ

是ダケヲ附シタイト思フノデアリマス、同時ニ「バス」ノ關係ニ付キマシテモ、吾々ハ之ニ附帶ノ條件ヲ附シタイト思フノデアリマスガ、是ハ買収法案ノ際ニ譲リマシテ、今回出テ居リマスル三案ニ付テハ、之ヲ以テ簡單ニ討論ニ代ヘル次第デアリマス

○原委員長 平野光雄君

○平野委員 鐵道敷設法ノ根本問題ニ付テハ、吾々論議ノ餘地ナキニ非ズ、特ニ今回追加提案ノ三線ニ付テ、之ニ關聯シテ吾々ニハ論議ガアリマス、併シ此三線ハ、豫算ヲ吾々ガ協賛ヲシタ以上、大體ニ於テ之ヲ認メザルヲ得ナイ、故ニ此三線ニ付テハ賛成致シマス、唯其詳細ニ付テハ、本會議ノ討論ニ讓リタイト思ヒマス、尙ホ只今門田君ヨリ附帶決議トシテ、大宮飯能線ノコトニ付テ御讀上ニナッタモノガアリマスガ、實

ヲ申セバ、吾々ハ斯ル局部的ノモノハ成ベク希望條項ト云フモノニシタ方宜カラウト云フ考ヲ持ッテ居リマス、隨テ吾々ニモ、例ヘバ日田添田間ノ新設ニ伴フ先決問題トシテノ中津線ノ如キモアリマスケレドモ、是ハ吾々ハ聽テ本會議ニ於テ、希望其他ニ於テノ形式ニ於テ申シテ見タイト思ヒマス、以上本敷設法ノ改正案ニ對シテハ贊意ヲ表スル者デアリマス

○原委員長 野中徹也君

○野中委員 本員モ政府原案ニ賛成ノ意思ヲ表明スル者デアリマス、唯此處デ一言致シタイトハ、兎角斯様な法律案ノ實施ニ當リマス、情實デアルトカ、因縁デアルトカ、或ハ政黨ノ問題ト云フモノガ介在シ勝チナモノデアリマス、情實ヤ個人的ノ感情

因縁ニ依リマシテ、國家ガ發動スベキ行爲ガ左右セラレルコトノ惡イコトハ申上ゲル迄モアリマセヌ、更ニ政黨的、殊ニ地方的政黨ノ意思デ事柄ノ決セラレルコトハ、容易ナラヌコト、思ヒマス、今日政黨不信ノ聲ガ其處此處ニ聞エルト云フコトハ、其原因ガ奈邊ニアルカヲ私共ガ探究スル場合ニ於テ、大ニ猛省シナケレバナリマセヌ、萬一間違ッタ、正當ナラザル所ノ行爲ガ行ハレタ場合ニ於テ、世道人心ニ惡影響ヲ及ボス

コトハ絶大デアリ、又必然デアリマス、ソレデアリマスカラ、政府ハ此點ニ留意セラレマシテ、二重投資ト云フヤウナ不經濟的ナ行動ヲスルコトナク、因縁情實ニ囚ハレルコトナク、政黨ノ弊ニ墮落スルコトナク、社會的正義、經濟的狀態ニ適應致シマシテ、神聖ナル行動ヲ爲サレンコトヲ切望シ、且ツ現政府竝ニ官吏ハ私ノ希望ニ背クモノデナイト云フコトヲ確信致シマシテ、原案ニ賛成スル者デアリマス(拍手)

○原委員長 討論ハ之ニテ終了致シマシタ、本案ニ對スル採決ヲ致シマス、原案ニ御賛成ノ方ハ御起立ヲ願ヒマス

〔贊成者起立〕

○原委員長 總員起立、滿場一致デ可決致シマシタ、次ニ本案ニ對シテ附帶決議ヲ附スベキヤ否ヤヲ御諮リ致シマス、其附帶決議ノ内容ハ「政府ハ大宮ヨリ川越ヲ經テ飯能附近ニ至ル線ノ敷設ニ付實測調査ノ上四圍ノ事情ヲ考慮シ最善ヲ盡スヘシ」ト云フ内容デアリマス、附帶決議ニ御賛成ノ方ハ御起立ヲ願ヒマス

〔贊成者起立〕

○原委員長 多數デアリマス、附帶決議ヲ附スコトニ決定致シマシタ、是ニテ鐵道敷設法中改正法律案ノ委員會ハ無事終了致シ

マシタ、皆様御苦勞様デゴザイマシタ
午後一時五十三分散會

昭和九年三月二日印刷

昭和九年三月三日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社